

花と緑の銀行だより

167号 2008.5



タムシバ／富山市婦中町

目次	・花と緑の提言..... 2	・この人あり..... 6
	・新しい花の活用コーナー..... 3	・技術講座..... 6
	・写真コーナー..... 4	・情報コーナー..... 7
	・活動事例..... 5	



花と緑の地域づくり

富山県農林水産部森林政策課長 宮長 悟

新緑が美しい季節を迎えておりますが、花と緑の銀行の頭取様をはじめ関係の皆様方には、日頃から、それぞれの地域の花づくり、緑づくりに積極的に取り組まれ、花と緑に彩られた美しい地域づくりに多大なご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、県では、平成19年4月に策定の「元気とやま創造計画」と、その個別プランである「富山県花と緑の新世紀プラン」に基づき、花と緑に包まれた良好な環境の保全と、地域の特徴を生かした花と緑の創造に取り組んでいるところです。

「富山県花と緑の新世紀プラン」は、花と緑といのちが輝く富山を目標に、第4次県土緑花計画として平成13年に策定し、「花と緑をすすめる」、「花と緑をはぐくむ」、「花と緑にふれあう」の3本の柱で構成されています。

「花と緑をすすめる」では、花と緑の銀行を中心に、花と緑のグループ等への支援、花と緑の推進組織や施策の充実、情報化の推進など。

「花と緑をはぐくむ」では、公園・学校などの花と緑の拠点、道路・河川等の花のベルト、そして森林、田園等の花と緑のエリアの整備と維持管理や花と緑の生産振興、調査研究、技術開発など。

「花と緑にふれあう」では、花と緑のフェスティバルやとやま森の祭典などの花と緑にふれあうイベントの開催、児童生徒、社会人等への生涯学習の推進、森林利用施設等の花と緑にふれあう場の整備などの各種の施策を推進しております。

さらに、昨年度からは、新しく「花のまち

づくり新拠点創出支援事業」と「コンテナガーデンコンテスト」を実施してきたところです。

「花のまちづくり新拠点創出支援事業」は緑化活動が活発でない地域で、一日花壇教室や花と緑の園芸相談等を行い、新しい活動の輪を広げるために、県内8箇所を実施しました。今年度は県内10箇所を実施する予定です。

また、「コンテナガーデンコンテスト」は、日頃、地域緑化の指導者としてがんばっておられる頭取・グリーンキーパーの皆様方の活動の成果を広く県民の皆さんに知っていただき、花と緑の活動の輪がさらに大きく広がるように、また、皆様方の今後の励みにしていただきたいという思いで、2月に開催いたしました。第1回目の記念すべきコンテストには県下の全支店から30作品もの出展があり、作品からは皆様方の並々ならぬ意欲が感じられ、日頃培われた緑化技術を競うにふさわしいコンテストとなりました。県民の皆さんと力を合わせて、花と緑に満ちあふれた地域づくりに取り組んでいる県としましても、大変うれしい限りです。今年度も引き続き、開催することにしておりますので、皆様方からたくさん作品を出展いただけますようお願い申し上げます。

今後も、県民の皆様方の誰もが花と緑に囲まれ、潤いと安らぎに満ちた花と緑の地域づくりに全力を尽くしたいと考えておりますので、皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

プリザーブドフラワーの作り方

カルチャーパティオ 葉っぱのたね
沖村由美

枯れない花、自然では表現できない珍しい色で一躍注目されるようになったプリザーブドフラワー。フレッシュのお花やアートフラワー、ドライフラワーに比べて瑞々しい姿が長期間楽しめるのが特徴です。

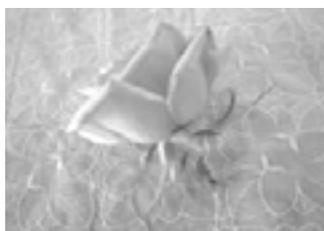
手作りプリザーブドフラワーの魅力

- ◇色のバリエーションが無限
- ◇安全な溶液を利用し、再利用ができる
- ◇徐々に変化する過程を楽しむことができる
- ◇世界でひとつだけのプリザーブドフラワーを作れる

プリザーブドフラワーの作り方

(一番多くアレンジに使用されているバラの作り方)

- 1.バラを花首から3cm位でカット。このときに新鮮なバラを使う。目安として水揚げがしっかりしてあるもの。



葉っぱに張りがあるもの。なるべく5~8分咲きのもの。花の色の薄いものがカラーリングが容易。

- 2.花からはみ出したガクは少し切りそろえてもよい。



- 3.密閉容器に生花の水分や色素を抜く脱色液、150ml~250mlとバラを入れる。空気が入ると液が酸化するため、開けっ放しはせずにフタをしっかりと閉める。完成度に影響します。

- 4.バラの水分が抜けてつやが出たら取り出します。(約10~12時間)

〈注意〉

いろいろな脱色液が販売されており、8時間程度で色が抜けるものもあります。



- 5.脱色したバラをカラーリングします。好みのカラーリング溶液の中にバラを入れる。バラに色がつくまで12時間以上はつけておいた方がよい。



- 6.カラーリングできた花材は容器から取り出し、脱色液で洗浄する。長くつけると再び脱色してしまいます。

- 7.洗浄したバラは穴をあけた紙コップ等に刺し、形が崩れないように乾燥させるのがコツ。



できあがったお花はリース等お好みのアレンジをして楽しんでください。

第18回花と緑のフェスティバルの開催風景

期日:平成20年2月22日~24日 場所:中央植物園



テープカット

花と緑の フェスティバル



ピノキオ保育園児による和太鼓演奏



フラワーデザイン



ミニ庭園「景・茶・彩」



プリザーブドフラワー



森林環境の紹介



実演・体験、各種教室



物販コーナー



コンテナガーデン展示風景

コンテナガーデン コンテスト



優秀賞 高岡市成美
花と緑の地方銀行



優秀賞 富山市大沢野花と緑の地方銀行
八木山花づくり同好会



コンテナガーデン大賞
射水市大門花と緑の地方銀行
作品名 都鄙融合



優秀賞 砺波市種田
花と緑の地方銀行

えがおいっぱい 花いっぱい

社会福祉法人四方福祉会 四方保育所
所長 前川幸子

1. 保育所花壇のあゆみ

12年前から花壇作りは地域を上げての取り組みが盛んであり、当保育所も平成18年度より民営化となりましたが、ますます力を入れて花壇作りに取り組んでいます。

子どもたちが花づくりをすることで豊かな感性を育む情操教育に通じると考えています。

近くには四方ガーデニング愛好会や四方小学校の花壇があることで、さらによい花壇作りに向けてお互い協力して花作りをする体制が整っています。保育所では「えがおいっぱい花いっぱい」をスローガンに掲げて地域でのボランティアの方々の協力を得



ています。地域での花苗の交換や花を通しての会話が生まれるなど、四方校区全体の活発なコミュニケーションが図られています。

2. 活動の状況

花壇面積が少ないところを350個のプランターを配置し、花の面積を確保しています。

子どもにとっての花壇の役割を考え、子どもたちが花壇に興味や関心が持てるように、毎年1つのお話のテーマを決めて花壇の中に家や魔法使いや小人などを配置して童話の世界を作り、楽しめるように工夫しています。

また、現在はエコの時代。給食の野菜くずをコンポストに入れて、土作りにも役立っています。

3. 平成19年花壇

昨年は「白雪姫の森へようこそ」というテーマのもと、四方漁業協同組合で不要になった「うき」をもらって7人の小人を描き、小さい「うき」には毒りんごを描き、配置しました。アーチをくぐると、すてきなメルヘンの国への入り口になって、大人も子どももわくわくした気分になります。



4. 自然とのふれあい

子どもたちが拾ってきた石もいろんな絵を描いて配置しています。お話の世界や石を配置したとたんに子どもたちは花壇をよく見に行くようになり、花に集



まる「虫取り」や花を採って「色水遊び」、「染め紙遊び」「種取り」まで遊びがどんどん広がります。



花の前で食事することも多くあり、子どもたちは「花の前で食べた方がおいしい!」を連発し食欲も増します。

5. 今後の取り組み

花を育てることで地域の方や保護者との会話が生まれ職員と子どもたちが一緒に花の世話をすることで花を愛する気持ちを共有できま



した。それが子どもたちの優しい気持ちを育むことにつながり、想像性も広がったと思われます。これからも地域の方や四方ガーデニング愛好会の方々、小学校との連携を図りながら花づくりをすすめていきたいと思っています。



地区に花と緑の大きな輪(和)を広げたい!!

グリーンキーパー 立野地区花と緑の推進協議会
会長 笠間謙三



立野は福岡町と合併してから高岡市の西部地域の中心に位置する様になりました。

立野地区に花と緑の地方銀行が発足したのが平成元年6月と聞いており、先輩のグリーンキーパーさんの努力と当局の協力により立野美鳥町公園

と東部公園に平成2年、平成7年にそれぞれ花壇ができ、綺麗な花が植えられ皆さんから喜ばれてきました。

平成3年に西高岡駅周辺が緑化指定区域になり駅前通りや立野・鴨島線の県道沿いの歩道にプランターに花を育ててきましたが、現在まで続いているのが立野・鴨島線のフラワーラインであります。

立野地区のGKも高齢化が進み少し積極性に欠けてきたように思いましたので、5年前からGKの若がりやと女性の方を養成してきて平成16～18年に9人の方々にGK登録して頂きました。その結果、西高岡駅前にもフラワーラインが復活致しました。

平成15年からプラグ苗の育成にも参加して現在二か所で育成しており、より多くの花苗を地元の小・中学校と住民のみなさんに提供するよう努力しているところでございます。

いきいきとした元気な花の育成がとても大切であ

りますが、技術や知識を広めるために5年前からいろんな視察研修に参加するとともに、コンクールにも参加することにより審査員の先生方はじめいろんな方々からの貴重なご意見、アドバイスが得られる様になりました。

とくに県道沿いフラワーラインは通勤・通学の多くの人々が挨拶と共に気持ちが和むと喜んでもらえる時が一番やり甲斐を感じる時です。

今年は立野団地の広場に花壇を作るべく計画しており自治会にもご協力をお願いしております。

私は率先して行動し、汗を流して範を示しながら地域の皆さんの協働をお願いしていくことが花と緑の輪を広げるため大切だと思っておりますので倍旧のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



〈技術講座〉

富山で育つ宿根草① アルケミラ・モリス

職藝学院
教授 渡邊美保子

葉はもみじまんじゅうのような形、肌触りはカシミアのマフラーみたい、雨が降ると葉の上で銀色の水玉が踊りだす、という育ててみたくなりませんか？ アルケミラ・モリスは、ヨーロッパ原産の寒さに強い宿根草で、レモン色の小さな小花がたくさん集まって空気中をふわふわ浮いているように咲きます。富山では、5月の末から咲き始めて3週間ほど楽しめます。栽培のポイントは、夏の高温に弱いので落葉樹の下など西日のあたらない明るい日陰に植栽することです。苗を植え付けてから3年ほどで草丈30～40cm、幅50cmぐらいに広がります。葉は常緑で、春になると扇子をたたんだような新葉が伸びてくるので、その前に古い葉、枯れた葉を根元から刈り込みます。また、開花後は、花茎を根元から切り詰めると新しい葉が出てきます。アルケミラ・モ

リスは花も楽しめますが、葉の形や質感も楽しめる宿根草です。おすすめの組み合わせは、アルケミラ・モリスの横に赤紫色の葉を持つツボサンゴの品種パレスパープル、その後に銀灰色の葉を持つイングリッシュラベンダー、ラムズイヤーなどを組み合わせると葉のコントラストがとてもきれいです。



コンクールとオープン講座のお知らせ

富山県花のまちづくりコンクール

花づくりを通じて花と緑に親しみ潤い豊かな環境づくりをめざし、人々に豊かな心と安らぎを与える地域づくりを推進するため、花を活用したまちづくりを顕彰します。

1. 応募対象

県内に所在(在住)する学校、幼稚園・保育所、団体、企業、個人とします。

2. 応募方法と審査

(1)日程

区分	部門	幼稚園・保育所花壇	学校花壇	花の道	一般花壇	個人花壇
対象		団 体				個 人
花壇規模		30㎡以上	30㎡以上	100㎡以上	30㎡以上	
応募方法		支店(市町村)の推薦による				一般公募
締切		7月16日(水)		7月23日(水)		7月7日(月)
一次審査		各支店(市町村)で実施				7月11日(金)
二次審査(現地)		7月28日(月)~7月29日(火)	7月31日(木)~8月1日(金)	8月4日(月)~8月5日(火)	8月7日(木)~8月8日(金)	7月25日(金)

(2)審査のポイント

詳細は応募団体(者)に別途連絡します。

- ア 花の栽培管理部門 …… 花の生育、エコロジー、栽培上の工夫
- イ 花飾りのデザイン性部門 …… 景観との調和、色の組み合わせ、配置、季節感
- ウ 活動・取り組み部門 …… 活動の状況、取り組み、波及効果等

3. 審査結果の発表と表彰

審査結果は8月下旬に公表するとともに、支店、応募者にお知らせします。

各部門ごとに右記の賞を決定する。最優秀賞1点 優秀賞2~4点 優良賞3~6点 (特別賞)

なお、優秀賞以上については秋に開催する「花と緑の大会」で表彰します。

4. 問い合わせ、送り先

○〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42番地 ○TEL076-466-2425 (財)花と緑の銀行あて

県民緑花オープン講座

1. 日程及び講座内容

(日程変更もする場合があります)

回数	日程	講座内容	教材費(予定)
第2回	5月 24日(土)	キッチンガーデンを楽しもう	2000円
第3回	7月 19日(土)	上手な病害虫対策	-
第4回	7月 26日(土)	アクアプランツを楽しもう	2500円
第5回	8月 2日(土)	プリザーブドフラワーを楽しもう①	2500円
第6回	8月 23日(土)	花壇苗をつくろう	1500円
第7回	8月 30日(土)	苔玉づくりに挑戦	1500円
第8回	9月 6日(土)	コンテナガーデンを楽しもう	2000円
第9回	10月 11日(土)	スイセンのいろいろ	1500円
第10回	11月 15日(土)	庭木の手入れ(剪定・雪囲い)	-
第11回	11月 29日(土)	花も実もなる果樹を楽しもう	-
第12回	12月 6日(土)	プリザーブドフラワーを楽しもう②	2500円
第13回	12月 20日(土)	正月を飾ろう(松竹梅の寄植え)	5000円
第14回	2月 14日(土)	アレンジメント“スプリングイベント”	2500円
第15回	2月 21日(土)	チューリップのあれこれ	1000円
第16回	2月 28日(土)	アレンジメント“贈る花”	3000円

2. 問い合わせ、申込み先

富山県花総合センター

〒939-1383 砺波市高道46-3 Tel 0763-32-1187 Fax 0763-32-1219

*e-mailはホームページにある「お問合せフォーム」にて送信願います。

ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

表紙・裏表紙写真提供 表紙「タムシバ」 県内の丘陵から亜高山帯に広く分布する。
名畑清信(前花総合センター部長) 裏表紙「ミズノウズキ」 県内の山麓の湿性に分布。白生地は減少しつつある。



ミゾハウズキ／富山市八尾町

花と緑の銀行だより 167号

発行日 平成20年5月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

富山県花総合センター

〒939-1383 富山県砺波市高道46-3

TEL 0763-32-1187

FAX 0763-32-1219

ホームページアドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

